

ALSO/BLSOプロバイダーコース獨協医科大学が開催されました

産科婦人科

平成31年11月30日（土）・12月1日（日）、本学看護学部棟において、ALSO（Advanced Life Support in Obstetrics）及びBLSO（Basic Life Support in Obstetrics）の2コースが開催され、ALSO：19名及びBLSO：24名の受講者が参加されました。

ALSOとは、医師やその他の医療プロバイダーが周産期救急に効果的に対処できる知識や能力身につけ、発展・維持するためのコースです。全国での受講者は10,100名以上を超えています。本学の総合周産期母子医療センター宮下進学内教授、茂木絵美学内助教、全国各地より来られた講師のもとに、妊婦ケアにおける安全性、分娩時胎児監視と症例などのレクチャーがあり、少人数グループによるワークショップでは、肩甲難産や産後大出血対応など行われました。



BLSOとは、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なコースです。全国での受講者は救命士を中心に3,400名以上が受講しています。BLSOコースでは本学の総合周産期母子医療センター多田和美学内講師、他3名の指導のもとに、分娩介助、新生児蘇生、女性傷病者の評価、車内分娩、症例検討が行わ

れました。救急車内分娩では実例も含めて、講師陣の迫真の演技に受講者もシミュレーションを忘れ実習をすることができ、学びの多い内容となりました。



両コースともに、受講者と指導者が一体となり、積極的に意見を交わしながら進めていました。本学での開催は7回目となりますが、定員枠を超える多数の応募があり、本コースへの関心の高さが伺えます。

お忙しい中、日程を調整してお集まりいただき指導していただいた講師の方々のおかげです。指導者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

